

心の栄養剤No138-①「卒業式」

子どもたちの”いじめ”が深刻な社会問題になり、国会でも取り上げられる昨今、心温まるいいお話しです。小松まり子さんというお母さんがおられて、その方のお子さんの足が不自由で、小学校の六年間、車椅子で通っていたんです。

六年間・・・車椅子の後押しをしたのは、近所の子どもたちでした。毎日当番を決めて、登下校の後押しをしたのです。来年から中学・・・みんなと同じ中学に行けると思ったら・・・教育委員会から「お宅のお子さんは体が不自由だから設備の整った肢体不自由児の中学校に転校してください」って言われたのです。

ご両親は納得されたのですが、友達には納得しませんでした。六年間一緒に通ったんだから、中学も一緒にいたい・・・署名運動までして嘆願した。「**エレベーターが無くても、トイレに1人で入れなくても、僕らがいます・・・車椅子を担いででもやります**」って言うんです。そんな約束までして・・・また三年間、一緒に中学に通ったのです。

三年生の最後の日・・・卒業式の日、一緒に卒業したかったのですが、身体不自由なうえに弱かったものですから風邪を引いて卒業式に出られなくなったのです。いつものように迎えに来た友達に、ベランダから「**九年間ありがとう!**」とお礼を言った。『じゃ・・・お前の卒業証書貰ってきてやるよ』と、友達は登校していった。お父さんも『今日は早く帰るから・・・一緒に卒業を祝おう』と言って出かけた。

お昼にチャイムが鳴ったので、お母さんがドアを開けたら・・・お父さんではなかったんですね。卒業式を終えられた校長先生が、卒業証書を、わざわざ息子さんのために持ってこられ・・・各学年で担任をされた先生方も・・・小学校からズ～と車椅子を押してくれた生徒たちも・・・一緒に来てくれたのです。

校長先生は『**お子さんのお部屋で、卒業式をやらせてください・・・**』とおっしゃった。みんな部屋に集まった・・・お子さんを前に、校長先生が卒業証書を読んでくれた。先生方は「よく頑張ったね!」と握手し友達は、周りを囲んで校歌を歌ってくれた。お子さんは、車椅子に座って証書を握りしめ、泣いていました。お父さんもお母さんも、涙が溢れて止まりませんでした。お父さんは、部屋のみんなに、喉を詰まらせながら、お礼を言いました。

『**息子は・・・皆さんの心温まる援助のお蔭で、無事小学校と中学校の両方を卒業できました・・・何を学んだかは本人に聞かないと分かりませんが・・・人から受ける優しさほど、人の心を豊かにしてくれるものはない・・・ということを学んでくれたら、それだけで十分です**』

心の栄養剤No138-②「親切の輪」

終電車の発車間際に切符なしで飛び乗り、車掌さんが回ってきた時に、切符を買おうと財布を出そうとしたが、財布がなかった。小銭入れもない。どこかで落としたのだろうか。

途方にくれたけれども、そのことを正直に車掌さんに言いました。

「すみません。明日、必ず営業所まで行きますから、今日は乗せてください」

ところが、この車掌さん、よほど虫の居所が悪かったのかどうか、許してくれない。次の駅で降りろ、と言うのです。次の駅で降りても家に帰る手段はない。ホームで寝るにしても、北海道の夜は寒すぎる。どうしようもなく困っていたら、横に座っていた同じ年格好の中年の男性が回数券をくれたんです。

お礼をしたいからと言って、その男性に名前や住所をたずねたけど、ニコニコ手を振って教えてくれない。最後は借りたことを忘れて、なぜ教えてくれないのかと文句を言ったら、次のような話をしてくれました。

「実は私もあなたと同じ目にあって、そばにいた女子高校生にお金を出してもらったんです。その子の名前を何とか聞きだそうとしたけど教えてくれない。

『おじさん、それは私のお小遣いだから返してくれなくて結構です。それより、今おじさんがお礼だといって私に返したら、私とおじさんだけの親切のやり取りになってしまいます。もし、私に返す気持があったら、同じように困った人を見かけたらその人を助けてあげてください。そしたら、私の一つの親切がずっと輪になって北海道中に広がります。そうするのが、私は一番うれしいんです。そうするようになって私、父や母にいつも言われてるんです』と私に話してくれました。」

九年間、車椅子を後押しし続けてもらった少年。

どうしようもなく困っていたところで回数券をもらった男性。

何事にも変えられないほどの素晴らしい体験を通して、それまで以上に優しく思いやりある人生に変わられたと思いますが・・・

もしかしたらそれ以上に「**心の豊かさ**」を手にいれたのは九年間車椅子を後押しし続けた同級生。

困った人に笑顔で回数券を差し出した男性。だと思います!

今月～来月と出会い～別れがあり、大きく人生の分岐点に臨まれる方も多い季節です。

是非、「心豊かに生きる」という今回のキーワードを意識して素晴らしい春を迎えましょう!!

